

## 非平衡ソフトマター物理学の創成第2回公開シンポジウム参加報告書

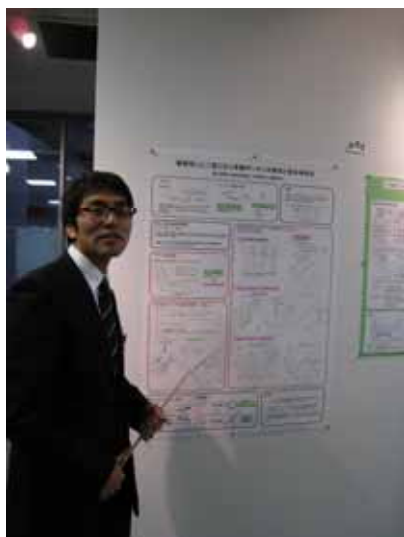
博士前期課程1年 佐藤研究室 美谷島 祐介

非平衡ソフトマター物理学の創成:メソスコピック系の構造とダイナミクス 第2回公開シンポジウム  
平成20年1月7日 - 8日  
名古屋大学IB 電子情報館 (名古屋市)

ソフトマターは電子産業・化学産業・医療産業などで非常に重要視されている物質であり、その応用範囲はさらに拡大しつつあります。この特定領域研究のシンポジウムでは、公募研究も含め様々な分野で発展をみせるソフトマター研究の成果やそれに密接に関係する研究の紹介などが行われました。

私は上記のシンポジウムにて、ポスター発表を1件行いました。タイトルは“熱変性した二重らせん多糖ゼンサンの再性と会合体形成”で、レオロジーコントロール剤として広く利用されているゼンサンの加熱・冷却によるゲル化のメカニズムの解明に関わる研究について発表させていただきました。

今回の発表は、私にとって初めてのポスター発表であり、口頭発表による発表とは違い自由に議論をすることができました。また、自分が取り組んでいる研究がどのような分野で意義があるのかを再認識することもできました。



ポスター発表の様子



名古屋大学野依記念物質科学研究館

今回のシンポジウムへの参加にあたり支援いただいたBMCプログラムに心より感謝致します。